

H25-08080-00483

平成25年11月21日

(一社) 長崎県建設業協会
長崎県建設工業協同組合理事長
(一社) 長崎県港湾漁港建設業協会
(一社) 長崎県中小建設業協会
(社) 長崎県工務店連合会
(社) 長崎県造園建設業協会
(一社) 長崎県ほ装協会
(社) 長崎県下水道建設業協会
(一社) 長崎県管工事協会
長崎県電気工事業工業組合理事長
(社) 長崎県測量設計業協会
(社) 長崎県地質調査業協会理事
(一社) 長崎県のり面協会

様

長崎県土木部
建設企画課長

公共工事における事故防止の徹底について

貴団体各位におかれましては、日頃から公共工事の事故防止対策について傘下の各団体員へご指導頂いていることと存じます。

今年度上半期に事故報告があった36件のうち、工事による交通規制中の事故が10件と多発しています。(別紙 参照)

内容については、第三者運転車両による規制停止または停車中の車両への追突事故が大半であり、同様な事故が特に7月以降、10月に入っても続発しています。

原因については、いずれも加害車両運転手の脇見運転等によるもので、設計や現場の安全管理に問題はありませんでした。

しかしながら、交通事故の低減は社会的要請であることから、貴団体各位におかれましては、貴下会員に対しまして下記の対策案等を参考に安全管理対策を講じて頂きますようご指導をお願いいたします。

平成25年度 上半期 交通規制中の交通事故

事故 発生日	事故の 種 類	被災状況 (症 状)	事故内容	事故 原因	対策
4月	その他事 故	第三者車 両同士の 追突・骨折	工事箇所に隣接する建物からでできた乗用車 とバイクが交通事故をおこし、バイクを運転して いる人が骨折、トラックは損傷した、	乗用車運転手の前方不 注意	—
5月	その他事 故(交通)	第三者車 両同士の 追突	片側交互規制の作業中、一台目の一般停車車 両に2台目の通行車両が追突した。	2台目の追突車両運転 手の前方不注意	徐行看板を新たに設置 し、走行速度の抑制と工 事の周知を図る
7月	もらい 事故	交通誘導 員交通事 故(右大腿 骨、恥骨、 坐骨、左 頬・側頭 骨、鎖骨)	片側通行規制(24h)中、交通誘導員がわき見 運転一般車両にひかれる	加害者側の過失	・デルタクッションの設置 ・回転灯の設置 ・警備員への事故発生 周知
7月	もらい 事故(交通 事故)	第三者・工 事車両損 傷	加害者通勤中にハンドル操作を誤り、仮設ガー ドレールに衝突し、一般車両の損傷。及びそれ による仮設ガードレール基礎の落下による工 事車両の損傷。	一般車両運転手のハン ドル操作ミス及び、ス ピードの超過	注意喚起標識の追加設 置
8月	その他事 故(交通)	第三者車 両同士の 追突	片側交互通行規制で停車中の一般車両同士の 追突事故(交通事故)	・運転者の不注意	—
8月	もらい 事故	交通誘導 員交通事 故(右足大 腿部裂傷、擦過 傷、打撲)	歩道部のバックホウ掘削で、警備員はガード レールを背にし前方にカラーコーンを設置し、 一部狭幅となる場所の誘導中、バイク突進し衝 突した	・加害者の脇見運転 ・突進される予測が想定 外	・徐行看板を増設 ・誘導員に再教育
8月	その他事 故(交通)	第三者車 両同士の 追突	橋上で橋梁補修工事に伴う片側交互通行を 行っていたところ、停止車列の最後尾で追突事 故が発生した	・加害者の脇見運転	—
9月	その他事 故(交通)	第三者車 両同士の 追突	片側通行規制区間において、先行乗用車が規 制信号切替り時(青→赤)で対向車線に侵入 後、急停止したため、追随した後続車が追突し た	後続車の過失	—
9月	その他事 故(交通)	第三者車 両同士の 追突	片側交互通行規制中に停車していた4台目の 軽自動車にバイクが軽自動車の後方に追突	脇見運転のため	—
9月	その他事 故(交通)	第三者車 両同士の 追突	片側交互通行規制で停車中の一般車両同士の 追突事故(交通事故)	一般車両運転者の前方 不注意	—

○工事事故の発生状況

(H25年9月末時点)

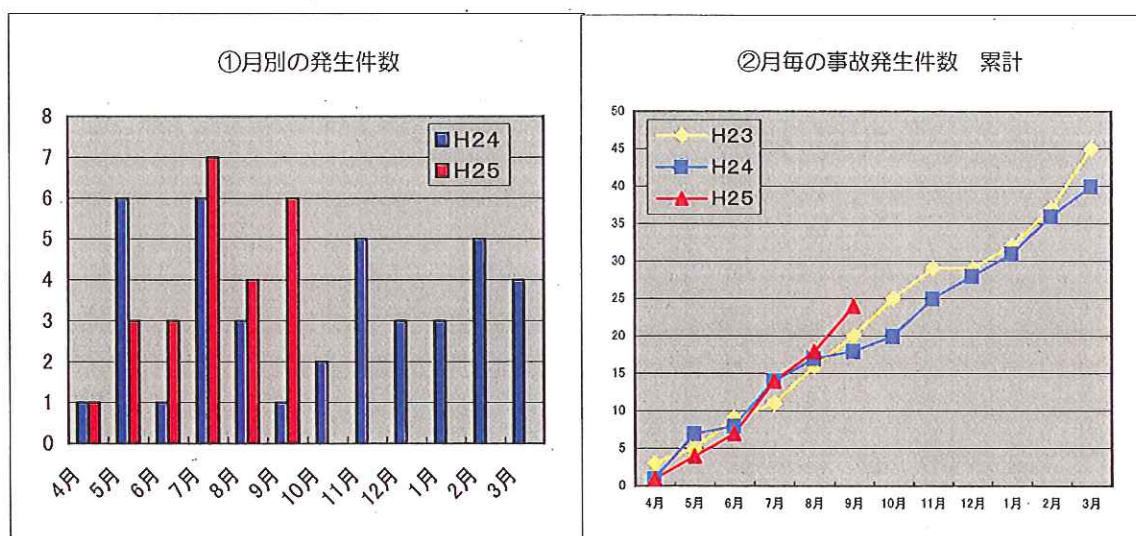
・件数は、土木部、漁港工事、委託業務を対象

①月ごとの事故発生件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23	3	2	4	2	5	4	5	4	0	3	5	8	45
H24	1	6	1	6	3	1	2	5	3	3	5	4	40
H25	1	3	3	7	4	6							24

②月毎の事故発生件数 累計

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H23	3	5	9	11	16	20	25	29	29	32	37	45
H24	1	7	8	14	17	18	20	25	28	31	36	40
H25	1	4	7	14	18	24						



③ 事故種類別発生件数

年度	合計	工事事故	公衆災害	物損事故	その他事故	重大事故	死亡事故
H22	25	12	1	12	0	7	0
H23	45	22	6	16	1	14	1
H24	40	24	2	14	0	7	0
H25	24	10	0	13	1	4	1

※重大事故とは工事事故の休業日数4日以上の事故で死亡事故は内数である

※事故発生件数については、H23より年間40件代と多発傾向にあるが、今年度についても同様の発生率で推移しており9月末時点にあっては、H23を上回っている。(参照②)

※事故発生件数は前年度と比較し、今年度は夏場の6～9月に前年度を上回っており、今後年度後半にあたり、さらに事故発生防止に努めなければ前年度事故件数を超えることが懸念される。